青年部通信

事務局　小野 朋宣

青年部では毎年行っているライスロマンクラブの育苗作業を4月20日から4月29日まで行った。

播種と移動作業を4日ずつ行い約16，000枚を仕上げた。初日には柴田康平部長を班長とし、新入部員2名を指導しながら作業していた。初めて育苗作業を行った新入部員は「青年部の初めての事業に参加し、幅広いジャンルの事業があると感じた。新鮮な気持ちで楽しく作業できた。」と達成感に溢れた顔で話した。

播種作業終了後、青年部のもち米の播種作業が行われた。去年と同様に種籾からの播種を行い、今年は育苗マットではなく、試験的に土を敷いて行った。マットとは違い、土であるため真っ直ぐに均す作業が重要であったが、その作業も役員らはどちらが綺麗に仕上げるか楽しそうに行っていた。

土の量調節に戸惑う部員ら

土を平らにする事が重要

約50枚の播種作業を終え、部員らは「土を敷くのは初めてだからハウスに入ってからどのような生育になるのか分からないが、今までよりもいい生育になるのであればこれからもこの形式でやっていきたい。」と不安と期待を寄せながら話し合っていた。

移動作業では、例年通り8人1チームで行い、移動初日は20度近くまで気温が上がったことからビニールハウスの中はそれ以上に熱く、汗を拭いながら作業していた。熱さから作業中の安全管理が緩くなりがちであることから、指示する人を決めてスムーズに作業していた。

今回で最後の育苗作業である部員もいる事から周りの部員らは名残惜しんでいた。

その様子を見ていた私も引退する部員がこれで最後だと思うと、寂しい気持ちになりながらも、楽しくみんなで作業した様子を見て安心しました。

部員同志の信頼が安全に繋がる

一生懸命運んだ育苗箱が並ぶ

いきいき女性部通信

事務局　桑田 歩

令和3年4月より女性部事務局担当になりました桑田歩（あゆみ）と申します。

入組して約1年半、組合員やお客様の顔と名前が少しずつ一致し始めのタイミングで人事異動により女性部を担当させていただくこととなりました。不安だらけで眠れない日々を送っておりますが、一日も早く部員の顔と名前を覚え、活動しやすいよう女性部のお手伝いが出来ればと思っております。よろしくお願い致します。

女性部では第57回通常総会が2月20日に、コロナ過ということもあり書面議決にて行われました。今年は役員改選の年で下記のとおり役員が決定し、10年以上部長を務めた大黒谷ヨリ子さんに代わり、部長に田澤真由美さんが就任しました。田澤部長は「大黒谷前部長が長年築き上げてきた女性部の活動をさらに発展させて、地域と共に活性化していきたい。」と意気込んでいました。

部長・事務局と新体制となりましたので、今までの先輩部員の経験や指導をいただきつつ、新たな取り組みなどをして女性部を盛り上げていけたらと思います。

新体制のメンバーを紹介します。

部　長　田澤　真由美（五所地区）
副部長　中嶋　美保子（前相馬地区）
副部長　三上　ひとみ（水木在家）
監　事　佐久間結華里（五所地区）
監　事　溝江　美幸（黒滝地区）

今後の活動内容

★**相馬こども園で農園づくり**

青年部に協力していただき、草取り・うね作り・苗植え（スイカ・カボチャ・ミニトマト・ピーマン・枝豆・ジャガイモ。）

★**相馬小学校3年生12名でふれあい教室**

りんご作り体験（授粉→摘果→袋掛け→袋はぎ・絵文字シール貼り→収穫と作業体験をする予定。）

＊　＊　＊

最近は新型コロナウイルスの変異株も発生し、なかなか終息する兆しがみえませんが、感染症対策をしっかり行い、事故・ケガのないよう、活動していきたいと思います。

これからも広報誌を通して活動報告をしていきます。

一生懸命育てた野菜を収穫できる喜びを学ぶ

相馬小３年生児童とのリンゴふれあい教室

生産情報

農業振興課　米澤　松太

○りんごの生態

相馬管内の生育状況は、発芽日は昨年より1日～3日ほど遅く経過しましたが、4月上旬から中旬にかけて平年と比べ気温が高く経過したため、展葉日は昨年に比べ4日～10日程早く経過しました。4月下旬以降の気温は平年より1℃ほど高く推移しており、今後の生態は早まることが考えられます。

	ふ　じ	王　林	つ　が　る
湯　口	4／10 （4日早い）	4／5 （4日早い）	4／16 （4日早い）
紙漉沢	4／12 （6日早い）	4／8 （10日早い）	4／17 （5日早い）
相　馬	4／12 （6日早い）	4／6 （10日早い）	4／20 （7日早い）
りんご研	4／7 （6日早い）	4／4 （4日早い）	4／8 （6日早い）

地区別の展葉日（カッコ内は昨年比）

○りんご作業（5月15日～6月15日）

今後は、摘果作業を迎えます。

一回目の摘果作業は、早くより多くの数を摘果するよう心がけましょう。果実の細胞分裂が終わる「落花25日頃」までに摘果を終えるのが理想的です。

摘果作業が遅れそうな場合には薬剤による摘果を行いましょう。

摘果剤はミクロデナポン1200倍を使用し果実に十分にかかるように、展着剤を加用して10aあたり350ℓ以上散布して下さい。

散布時期は、ふじ、王林、早生ふじ、トキでは満開後2週間頃（ふじは横径目通りの高さで7～10㎜くらい）、紅玉、星の金貨では満開後3週間頃（紅玉では中心果の横径16㎜くらい）の一回です。つがるやジョナゴールド、世界一などの早期落果の多い品種やジョナゴールドにかかると落ちすぎることがありますので、かからないように気を付けましょう。

散布計画	散布量	散布時期	基準薬剤	希釈倍数	備　考
4	350ﾘｯﾄﾙ	落花10日後頃	デラン（F） エルサン（水） 果面保護剤	1500倍 1000倍	リンゴハダニ対策としてバロック2000倍が有効
5	420ﾘｯﾄﾙ	落花20日後頃	ジマンダイセン（水） スプラサイド（水） 果面保護剤	600倍 1500倍	
6	500ﾘｯﾄﾙ	6月中旬	アントラコール（顆水） 又はラビライト（水） モスピラン（顆水） エコマイト（顆水） 果面保護剤	500倍 4000倍 4000倍 2000倍	・ダニの予察を行い適期散布に努めましょう。 ・ラビライトを選択することで枝フラン病を同時防除することが出来ます。

りんご病害虫防除暦（第4回目～6回目）

○水稲

水田の一発除草剤は「シグナスジャンボ剤」を使用します。除草剤施用時には5～6㎝の深水にし、その後3～4日は水田に水を入れないようにしてください（薬剤の層を壊さないため）。やむを得ず水を入れる場合には、静かに水を入れて下さい。

その後の水管理は、平均気温が高い時は浅水にして分けつを促進し、低い時には深水にして低温障害を防ぎましょう。

水が足りなくなった場合は夜間に水を入れ、かけ流しは絶対に避けてください。

◎農作業事故防止に努めましょう

農作業が本格化し、忙しくなりますが、機械作業は焦らず無理をしない運転を心がけましょう。どんなに慣れた作業でも油断はせず事故防止に努めましょう。

今年も高品質でおいしいりんご生産に向けて、産地一丸となって取り組んでいきましょう。

果実販売動向

販売課　田中　瑠偉

4月の果実動向は、全般に数量減の下げ基調で推移しました。いちご、中・晩柑類については、売場のメインとなっていましたが、終盤を迎え数量が減少しているなかで、傷み等の品質低下が多発していることから売場は縮小傾向となり、下げ基調の展開となっています。スイカ・メロンについては、徐々に入荷増となり、消費地の気温上昇によりカット売りを中心に売場拡大が進んだことから、荷動きは回復傾向となっています。輸入果実については、キウイ、ブドウ、バナナ等が値ごろ価格となっており、売場が拡大されています。りんごについては、入荷が不安定な多品目と比較すると企画販売しやすいことから売場は確保され、サンふじの下位等級品についても値ごろ価格で販売したことから、一定の荷動きは維持されましたが、内部褐変が散見されたことや、産地在庫や流通在庫が異常に多いことから供給過剰となり、弱保合いでの販売となりました。サンふじが回復の兆しが見えなく販売終了することは近年まれにみる現象です。黄色品種についてはヤケ等品質低下の発生が増加し、特に王林については取扱を停止した小売店もあります。

今後、スイカ・メロン・輸入果実の売り場は拡大され、リンゴについては、消費地気温の上昇に伴い、品質懸念があることから冷蔵棚へ移行され、厳しい販売展開が予想されます。当ＪＡではサンジョナの販売が4月いっぱいで終了し、有袋ジョナゴールドへ切り替わります。サンふじについては6月までの販売、有袋ふじについては4月から定番向けの販売となっています。王林は5月いっぱいの計画でシナノゴールドについてはできるだけ長期の販売となります。

リンゴの品質の悪いものが全国的に大量に出回っていることから、産地および流通段階における品質管理を徹底したうえで、消費地動向を見据えた選果・出荷を励行し、価格の底上げを図ります。

シナノゴールドやサンふじの出荷作業が最盛期

単価は全農あおもりデータ（４／30累計）、在庫数量は県りんご果樹課作成（３月末）

品　種	サンふじ	ふ　じ	王　林	ジョナ	その他	合　計
単　　価（円）	2,552	4,162	2,716	2,535	2,691	2,607
前　年　比（%）	79	93	91	77	92	85
在庫数量（ﾄﾝ）	37,838	27,522	7,707	13,216	6,496	92,779
前　年　比（%）	264	104	138	140	147	154

直売所「林檎の森」

副リーダー　三上 翔平

野菜苗コーナーに多くのお客さんが集まる

大人気！　東光（トマト）の植え方をレクチャー

いつも直売所「林檎の森」をご利用いただきありがとうございます。

4月29日から開催した花と緑の市は、天候に恵まれ初日から多数のお客様で賑わいをみせ、大盛況に終えることが出来ました。

中でもキュウリ、ナス、桃太郎（トマト）、東光（トマト）、フルーツトマト、スイカ、メロンが売れ筋となりました。野菜苗や鉢花などたくさんお買い求めいただきありがとうございました。

店内においては、直売所会員が出荷されている山菜がたくさん出荷されており、タケノコやササダケ、ワラビなどがたくさん出ています。

葉物や夏野菜などの地物野菜も、これからたくさん出てくることかと思われます。また惣菜の出荷者も新たに増え、お弁当やパンなども種類豊富になっております。是非畑仕事の休憩などにどうでしょうか？

そのほか、当ＪＡのフルーツステーションにてＣＡ貯蔵されたりんごがおすすめとなっております。現在の品種は有袋ふじ、シナノゴールドとなっております。３個入りで有袋ふじが４００円、シナノゴールドが２８０円となっております。これからもこのような販売を行う予定ですので、楽しみにしていてください。

これからの時期はサクランボが店に並んできます。その後メロンやスイカ、嶽きみもたくさん出てきますので是非足を運んでみてはいかがでしょうか。スタッフ一同お待ちしております。

色とりどりの花がたくさん並ぶ

山菜の代表格！　採れたての太いタケノコ